

# ヨド物置 エルモ シャッター

## 単棟・連棟型〈土間タイプ〉組立説明書 LOD(U)・2218HD型・2222HD型

このたびは「ヨド物置」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずご確認ください。  
また「取扱説明書」「保証書」は大切な書類ですので、施工完了後、必ずお客様へお渡しください。  
※この組立説明書は2222HD×2連棟の図を基準にしていますが、単棟・3連棟以上の場合、または機種が2218の場合も組立手順は同じです。よくご確認の上、組立を行ってください。(組立は専門業者に依頼ください。)

**●設置場所の制限**

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍による陸など)にあわせて設計・施工してください。

**●施工前の注意点**

△注意

- 1.建物の屋上には設置しないでください。
- 2.バルコニー等の遊歩道に当たる場所には設置しないでください。
- 3.大雨からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 4.凍り、凍結の恐れがある場所には設置しないでください。
- 5.給排水の前には設置しないでください。

**●施工時の注意点**

△注意

- 1.フックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
- 2.部材は、全て裏側ですの手を切らないようご注意ください。
- 3.安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.組立部材には長尺で重い部品がありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 5.風強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 6.高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。

鍵は、シャッタースラットの裏面に貼り付けてあります。

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを梱包組合せ表・梱包内容表にて確認してください。
  - 2.部材の共通化のために、実際には使用しない乳の空いている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
  - 3.部材名称の左-右は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- ※シャッターの部材名称は室内側から見ての左右となりますので間違えないように取り付けてください。
- 4.部材の組立は、ボルトの乳に合わせて組立てください。ボルト乳が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの乳位置を合わせてください。
  - 5.組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。
  - 6.シャッター部材の取付けについては各工程に注意事項を記載しておりますので、よくお読みの上、組立を行ってください。

- 組立に必要なもの(事前にご準備ください。)**
- ・軍手・手袋、脚立・M6・M8ボルト・アンカーボルト・締結用のスパナ又はモンキー・ペンチ等工具・サゲフル・サンダー等切断工具・アンカーボルトW1/2×210、ナット×2、ワッシャー(オプションの取付もごさいます。)
- 使用ビス一覧**(各工程の使用ボルト数に特に記載がない場合は、M6×15(白)を使用します。※が付くものは連棟のみ使用します。)

※[5] 中柱前高さ調整時

※[6] 上枠中の組立時

※[7] 上枠前補強取付け時(豪雪型のみ)

※[16] 前板取付け時

※[17] シャフトの取付け時

※シャッターブラケットに取り付けています。

**梱包組合せ表**

機種	2218型		2222型	
	単棟用	追加棟用	単棟用	追加棟用
屋根	LMS-0934	LMS-0933	LMS-0933	LMS-0933
上枠前後	一般 L05-0205	L05-0205	L05-0205	L05-0205
豪雪型	L05-0225	L05-0225	L05-0225	L05-0225
下枠前後	L05-0275	L05-0275	L05-0275	L05-0275
上枠左右	一般 LMS-0304	LMS-1604	LMS-1604	LMS-1605
上枠中	豪雪型 LMS-1634	LMS-1634	LMS-1634	LMS-1635
下枠左右	L05-0374	L05-0375	L05-0375	L05-0375
柱	一般型 L05-0432	L05-0431	L05-0432	L05-0431
豪雪型	L05-1475	L05-1475	L05-1477	L05-1477
脚差し	一般型 LMS-1105	LMS-1105	LMS-1105	LMS-1105
豪雪型	LMS-0537	LMS-0537	LMS-0537	LMS-0537
補強	豪雪型 L05-4533	L05-4533	L05-4533	L05-4533

**梱包内容表**

部品名	数量	部品名	数量
※前板		※中柱前	
LOD-0148	2218・2222	LMS-1604	2218
部材名	数量	部材名	数量
ボルトM6×15(白)	200(13)	ELD 上枠中 右 A2.5	1
ボルトM8×21	5(1)	ELD 上枠中 右 A2.5	1
ナットM6-16用	5(1)	ELD 屋根補強材 A3.0	1
LOD 下枠補強材 DM 前 右	1	ELD 上枠中 右 A2.5	1
LOD 下枠補強材 DM 前 左	1	ELD 上枠中 右 A3.0	1
LOD 下枠補強材 DM 後 右	2	ELD 上枠中 右 A3.0	1
LOD SH-1用補強材 DM 前	1	部材名	数量
LOD SH-1用補強材 DM 後	1	部材名	数量
LOD 下枠脚差し DM 前 左	1	部材名	数量
LOD 下枠脚差し DM 前 右	1	部材名	数量
ELD 屋根脚差し A	2	部材名	数量
ELD 屋根脚差し B	2	部材名	数量
コーキング塗布	1	部材名	数量
組立説明書	1	部材名	数量
保証書	1	部材名	数量
※( )内は予備		部材名	数量
LOD-6138	2218・2222	部材名	数量
部材名	数量	部材名	数量
ボルトM6×15(白)	164(13)	部材名	数量
ボルトM8×21	5(1)	部材名	数量
ナットM6-16用	5(1)	部材名	数量
セルフドリルビス M4×13	5(1)	部材名	数量
ボルトM6×18	2(1)	部材名	数量
ボルトM6-13用	2(1)	部材名	数量
LOD 下枠補強材 DM 前 中	1	部材名	数量
LOD 下枠補強材 DM 前 右	1	部材名	数量
LOD 下枠補強材 DM 前 左	1	部材名	数量
LOD SH-1用補強材 DM 前	1	部材名	数量
LOD SH-1用補強材 DM 後	1	部材名	数量
LOD 下枠脚差し DM 前 左	1	部材名	数量
LOD 下枠脚差し DM 前 右	1	部材名	数量
ELD 屋根脚差し A	2	部材名	数量
ELD 屋根脚差し B	2	部材名	数量
コーキング塗布	1	部材名	数量
組立説明書	1	部材名	数量
保証書	1	部材名	数量
※( )内は予備		部材名	数量
LOD-0205	2218・2222	部材名	数量
部材名	数量	部材名	数量
LOD 上枠前 A3.0	1	部材名	数量
LOD 上枠後 A3.0	1	部材名	数量
LOD-0225	2218・2222	部材名	数量
部材名	数量	部材名	数量
LOD 上枠前 A3.0	1	部材名	数量
LOD 上枠後 A3.0	1	部材名	数量
LOD-0275	2218・2222	部材名	数量
部材名	数量	部材名	数量
LOD 下枠前 DM A3.0	1	部材名	数量
LOD 水切り側 DM A3.0	1	部材名	数量

### 1 基礎施工例(参考図)

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍による陸など)にあわせて設計・施工してください。

**〈単棟型〉基礎図**

(参考図の設計条件)  
地耐力50kN/m<sup>2</sup>  
コンクリート設計基準強度 18kN/m<sup>2</sup>以上  
基準風速34m/s  
地表面粗度区分Ⅱ

機種 D Da Db  
LOD(U)・2218H 1,897.5 1,777.5 1,653  
LOD(U)・2222H 2,248 2,128 2,003.5

**〈連棟型〉基礎図**

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍による陸など)にあわせて設計・施工してください。

機種 D Da Db  
LOD(U)・2218H 1,897.5 1,777.5 1,653  
LOD(U)・2222H 2,248 2,128 2,003.5

△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の状況(基準風速・凍による陸など)にあわせて設計・施工してください。

機種 D Da Db  
LOD(U)・2218H 1,897.5 1,777.5 1,653  
LOD(U)・2222H 2,248 2,128 2,003.5

### 2 水切りの取付け

① 水切り後の両端の孔をアンカーボルトに通して基礎の上に設置します。設置後、下図の通りコーキングします。

② 水切り側も同様に設置します。

△注意 コーキングが不十分だと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

### 3 接続金具の取付け(その1)

① 下枠接続金具前(左右)の孔を基礎のアンカーボルトに通し、ワッシャー・ワールパッキン・ナット×2で固定します。

② 下枠接続金具後 も同様に取付けます。

③ 下枠接続金具後中 も同様に取付けます。

### 3 接続金具の取付け(その2)

④ 金具を固定後、下図の通りコーキングします。

△注意 コーキングが不十分だと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

△注意 市販のアンカーボルトでワールパッキンがついていない場合はアンカーボルト周辺にコーキングを行ってください。

### 4 下枠の組立

① 下枠側・下枠後 を接続金具の上から被せて固定します。

△注意 コーキングが不十分だと雨水等が室内に侵入する恐れがありますのでしっかりと必要個所に塗布してください。(高さ1cm程度が目安)

### 5 柱の組立

① 柱前左右・柱後 を下枠の4隅の切欠きに差し込んでボルト止めします。

② 中柱後 を同様にボルト止めします。

③ 中柱前 の下部に付いている金具のタップに(アジャスターボルト)を取り付けます。併せて少し上側のナット2か所にボルト止めします。

④ 中柱前を柱前の高さで揃えて建てます。補足説明ラベルの通り、中柱前下部の△の頂点と布基礎天面の高さを合わせてください。微調整はアジャスターボルトを回して行います。施工後はラベルをはがしてください。

△注意 中柱前は自立しませんので、図の様に、倒れない工夫をしてください。

### 6 上枠中の組立

① 中柱前と中柱後の室内側のスリットに(上枠中左・中右)のツメを引っかけて仮預けします。上枠中左と中右は、かみ合わせてください。

② 上枠中と中柱前を、(上枠中受け金具前右(左))ではさんで、ボルト(M8×65)・M8袋ナット・M8ワッシャーで固定します。上枠中と中柱後も同様に固定してください。※一般型と豪雪型とで金具形状およびボルト類使用数が異なります。

③ 上枠中の3つ孔に、両側から(もや取付金具)をボルト(M6×18)とM6ナット(W13)で取付けます。

### 7 上枠前後の取付け

① 上枠前のツメを柱前左右、中柱前の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

② 上枠後 のツメを柱後、中柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。

③ 豪雪型の場合のみ (上枠前補強)を室内側から柱前左右、中柱前に載せ、両端部をボルトとナットで固定します。中央部は室外側から上枠前とボルトで固定します。

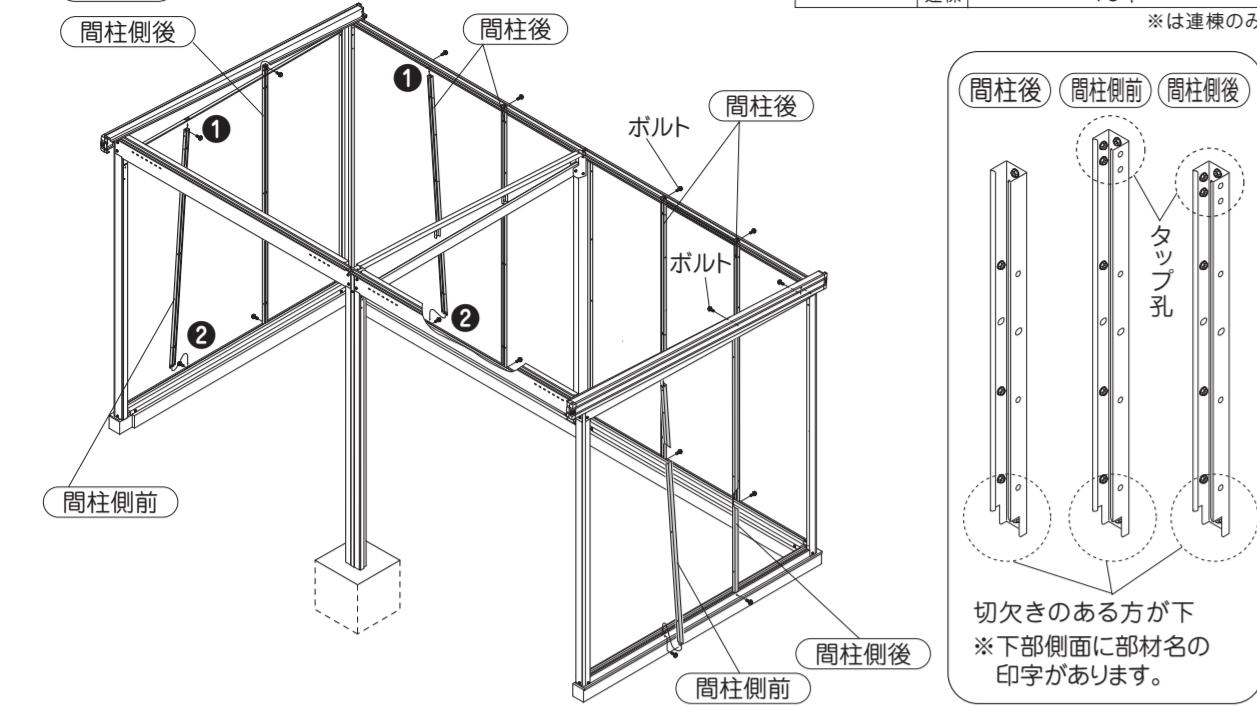
### 8 上枠左右の取付け

① 上枠左・上枠右 を柱に取付けます。

△注意 ツメが正しく引っ掛かっていることを確認してからボルトで固定してください。

## 9 間柱側・後の取付け

- ① 間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ② 間柱側)も同様にして取付けます。



	2218型	2222型
一般型	LM5-1456	LM5-1458
豪雪型	LO5-1475	LO5-1477
使用部品数	単棟 12本 連続 16本	

## 10 屋根連結材の取付け

### ●連棟の場合のみ

- ① 屋根連結材)を上枠中に取付けます。



電動工具が使えない場所をボルト止めしますのでスパナ等を使って手でボルトを締め付けてください。

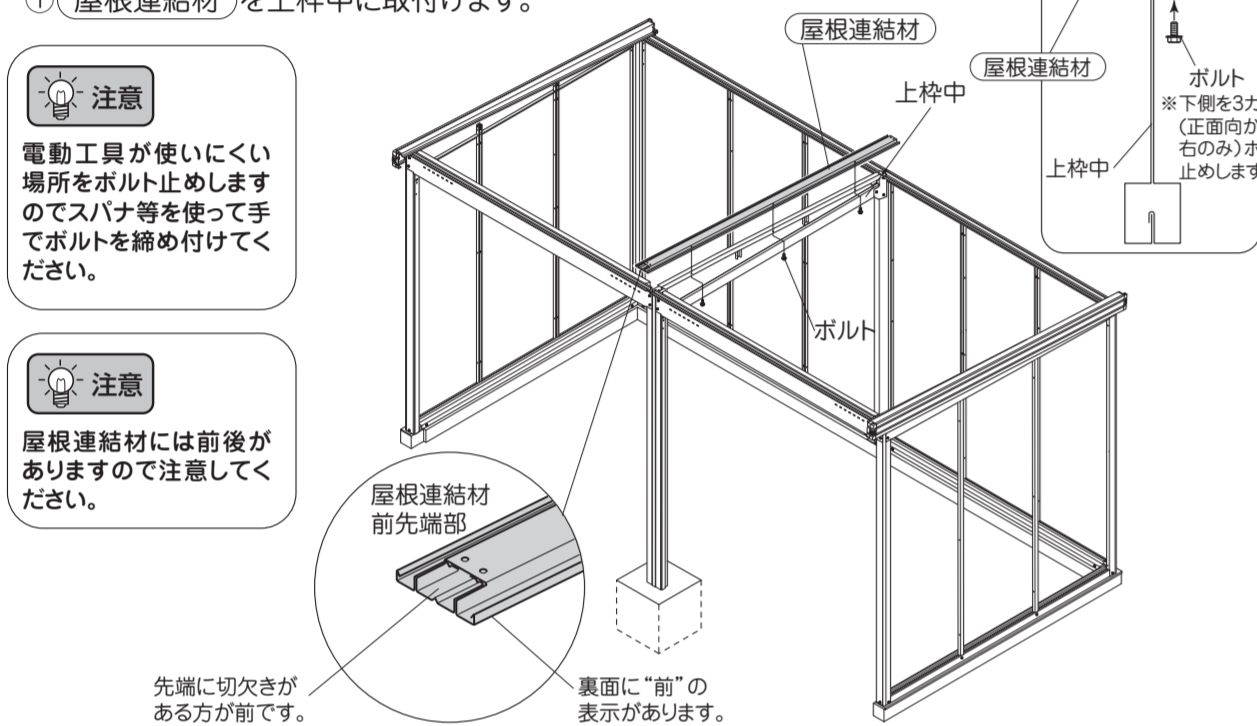


屋根連結材には前後がありますので注意してください。

先端に切欠きがある方が前です。

裏面に「前」の表示があります。

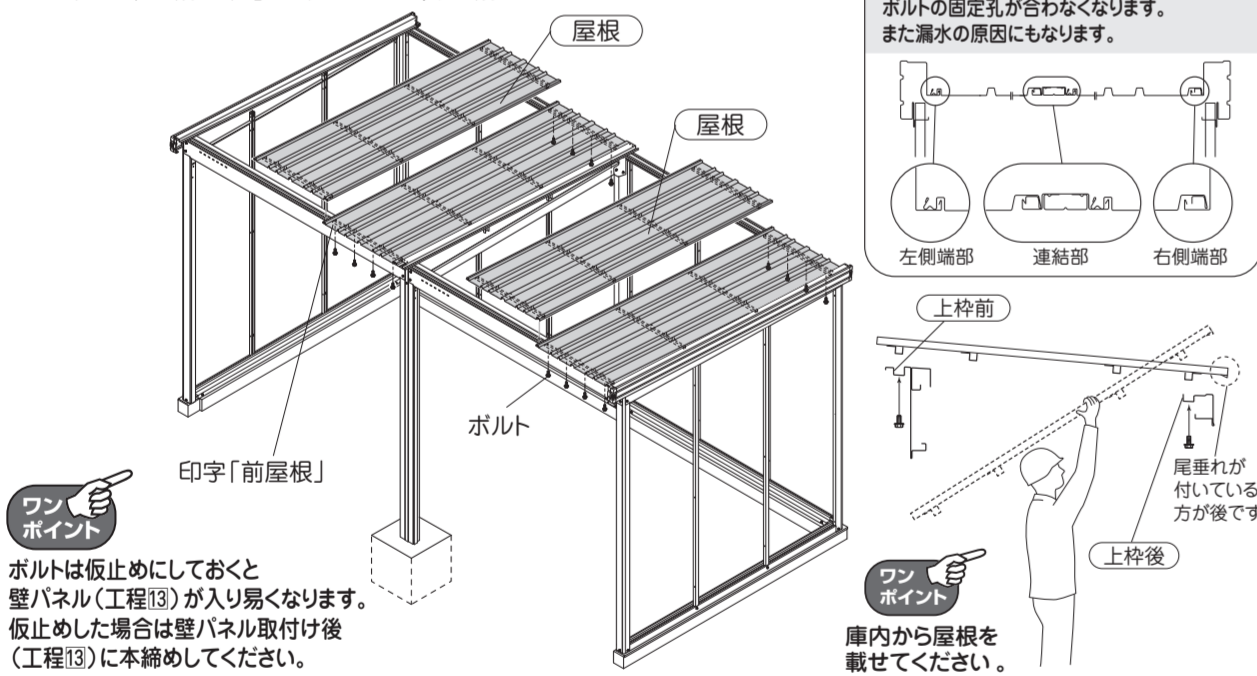
	2218型	2222型	2218型	2222型
一般型	LM5-1604	LM5-1605	LM5-1634	LM5-1633
使用部品数	3本			



## 11 屋根の取付け

- ① 屋根)を連結部の右側、左側それぞれ右端から順番に載せて上枠前、上枠後にボルト止めします。

※裏面に「⇒屋根」の印字がある方を前にします。



## 12-A もやの取付け ●一般型の場合

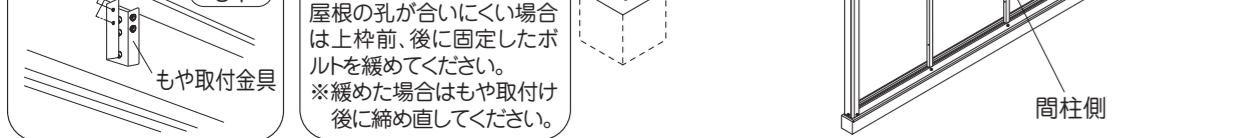
- ① もや)を正面から間柱側に載せてボルト止めします。
- ② もや)と屋根をボルト止めします。



もやは4本共同し形状です。一番前には「一般型」のラベルが貼り付けてあるもやを取り付けてください。



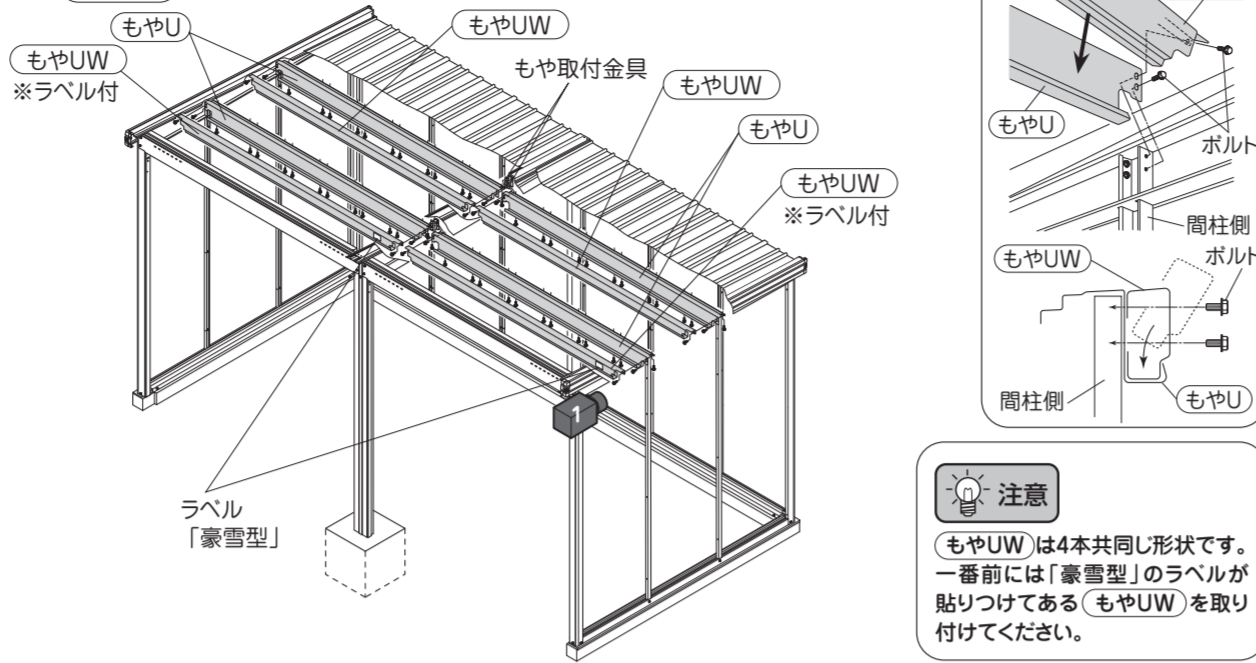
屋根の孔が合いにくい場合は上枠前、後に固定したボルトを緩めてください。※緩めた場合はもや取付け後に締め直してください。



	2218型	2222型
使用部品	LM5-0537	
使用部品数	単棟 32本 連続 64本	

## 12-B もやの取付け ●豪雪型の場合

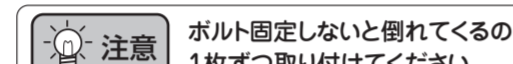
- ① (もやU)を正面から間柱側、もや取付金具に載せて下側の孔をボルト止めします。
- ② 正面から(もやUW)を(もやU)に落としこみボルト止めします。
- ③ (もやU)と屋根をボルト止めします。



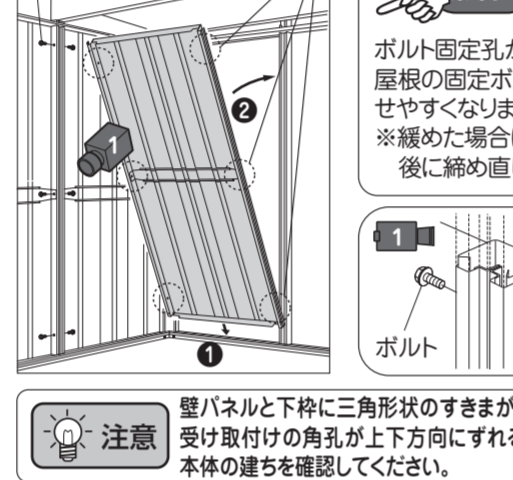
もやUWは4本共同し形状です。一番前には「豪雪型」のラベルが貼り付けてある(もやUW)を取り付けてください。

## 13 壁パネルの取付け

- ① 室内から(壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
- ② 柱・間柱にボルト止めします。
- ③ 柱前左右とはボルト止めしません(工程20で固定します)。

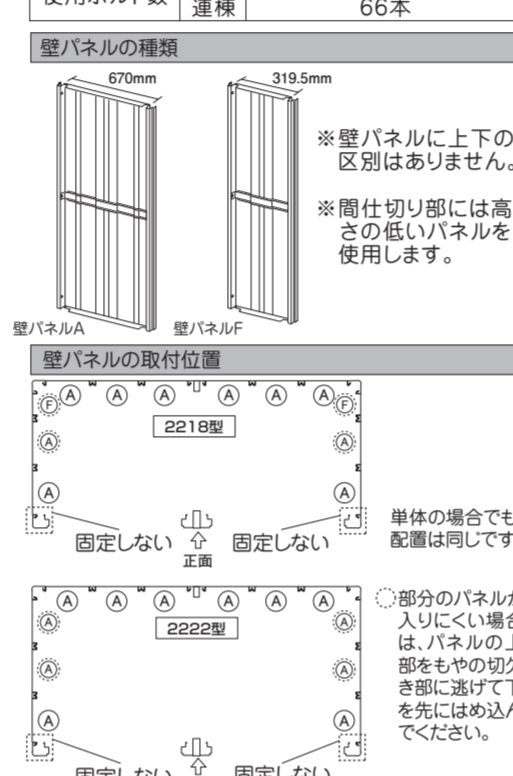


ボルト固定しないと倒れてくるので1枚ずつ取り付けてください。



壁パネルと下枠に三角形のすまきが発生したり隣同士の欄受け取付けの角孔が上下方向にずれる場合は、下枠の水平、本体の違ちを確認してください。

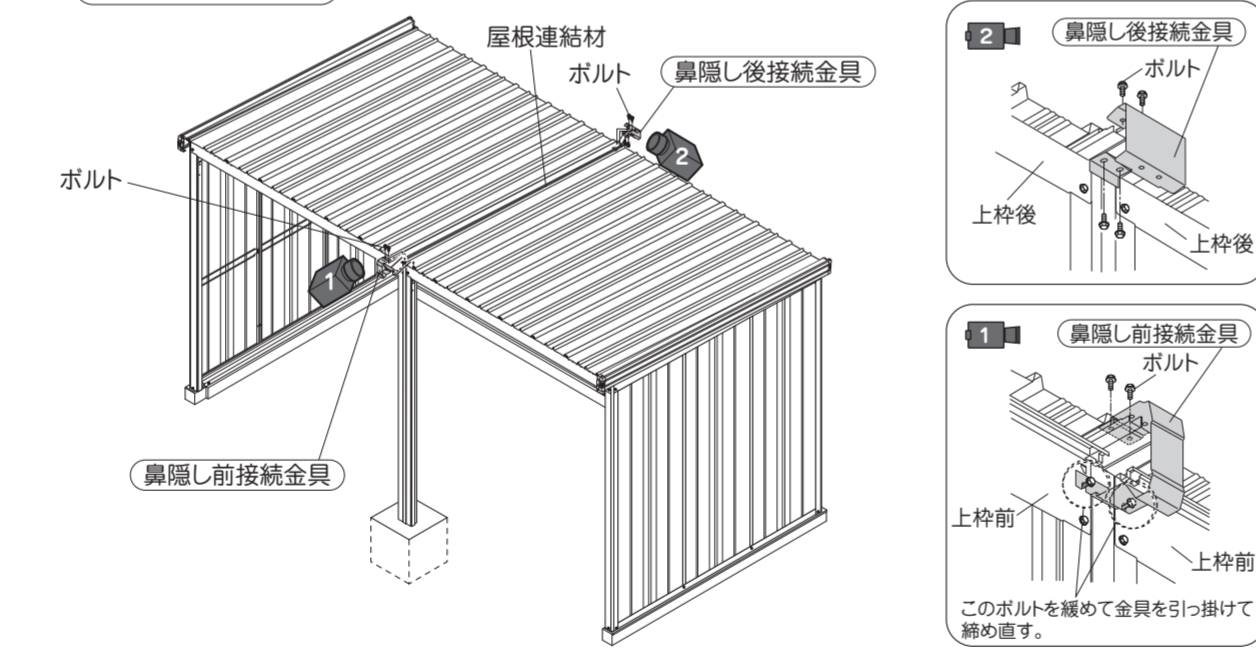
	2218型	2222型
使用部品	LM5-1013	LM5-1013
使用部品数	単棟 48本 連続 66本	



## 14 鼻隠し接続金具の取付け

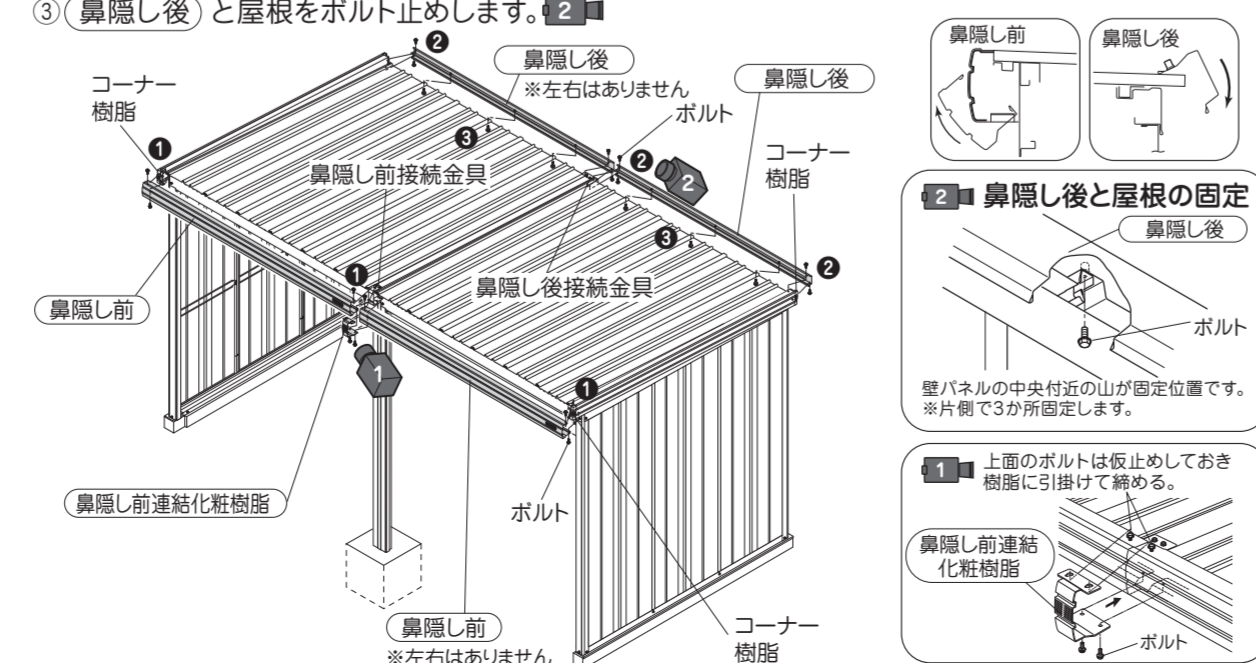
### ●連棟の場合のみ

- ① 鼻隠し前接続金具)を屋根連結材の前端部と上枠前にボルト止めします。上枠前のボルトは一旦ゆるめて鼻隠し前接続金具の下部切欠きをひっかけてボルトを締め直します。
- ② 鼻隠し後接続金具)を屋根連結材の後端部にボルト止めします。



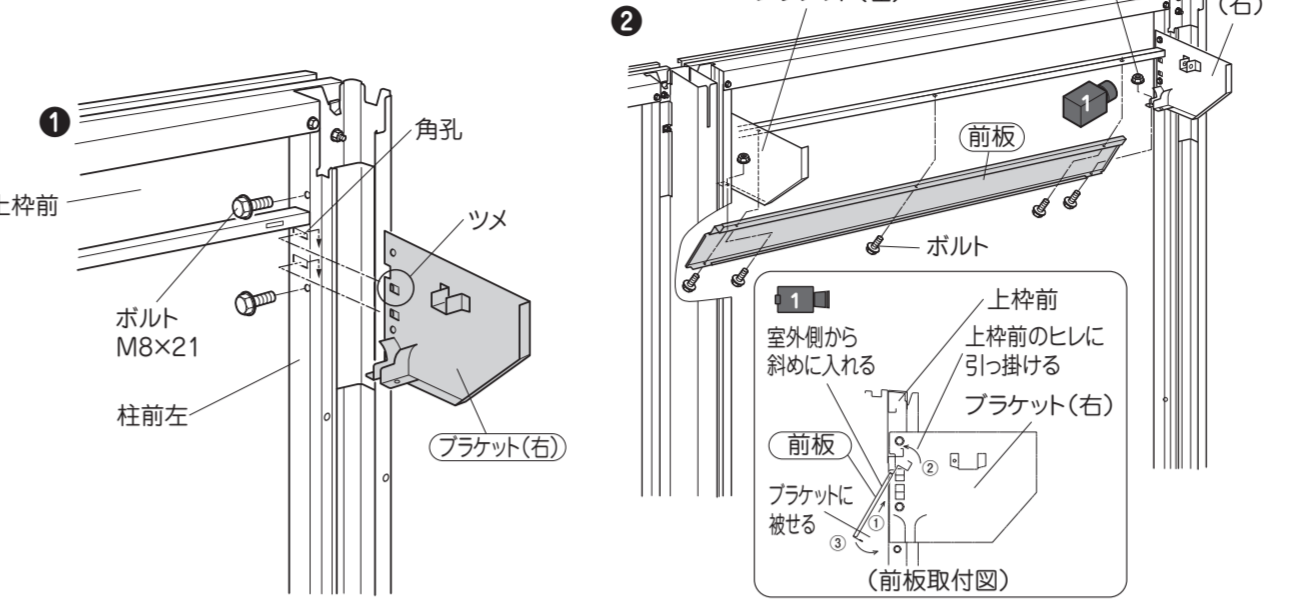
## 15 鼻隠しの取付け

- ① (鼻隠し前)をコーナー樹脂、鼻隠し前接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
- ② (鼻隠し後)をコーナー樹脂、鼻隠し後接続金具にかぶせるように取付けボルト止めします。
- ③ (鼻隠し後)と屋根をボルト止めします。



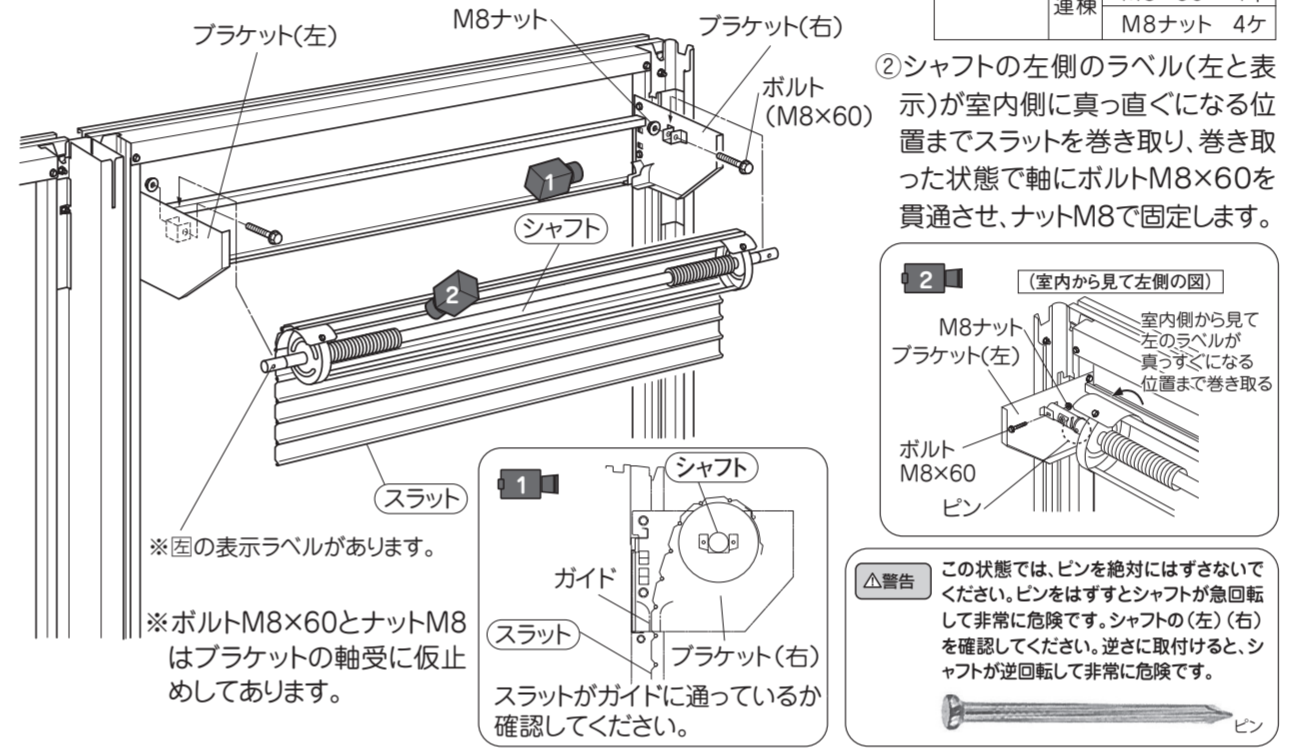
## 16 ブラケット・前板の取付け

- ① (ブラケット左右)のツメを柱前左右、中柱前の角孔部に引っ掛けてボルト止めします。
- ② (前板)を下図のように室外側から斜めに入れ、上部は上枠前に引っ掛けてボルト止めします。下部はブラケットにかぶせてボルトとナットで固定します。



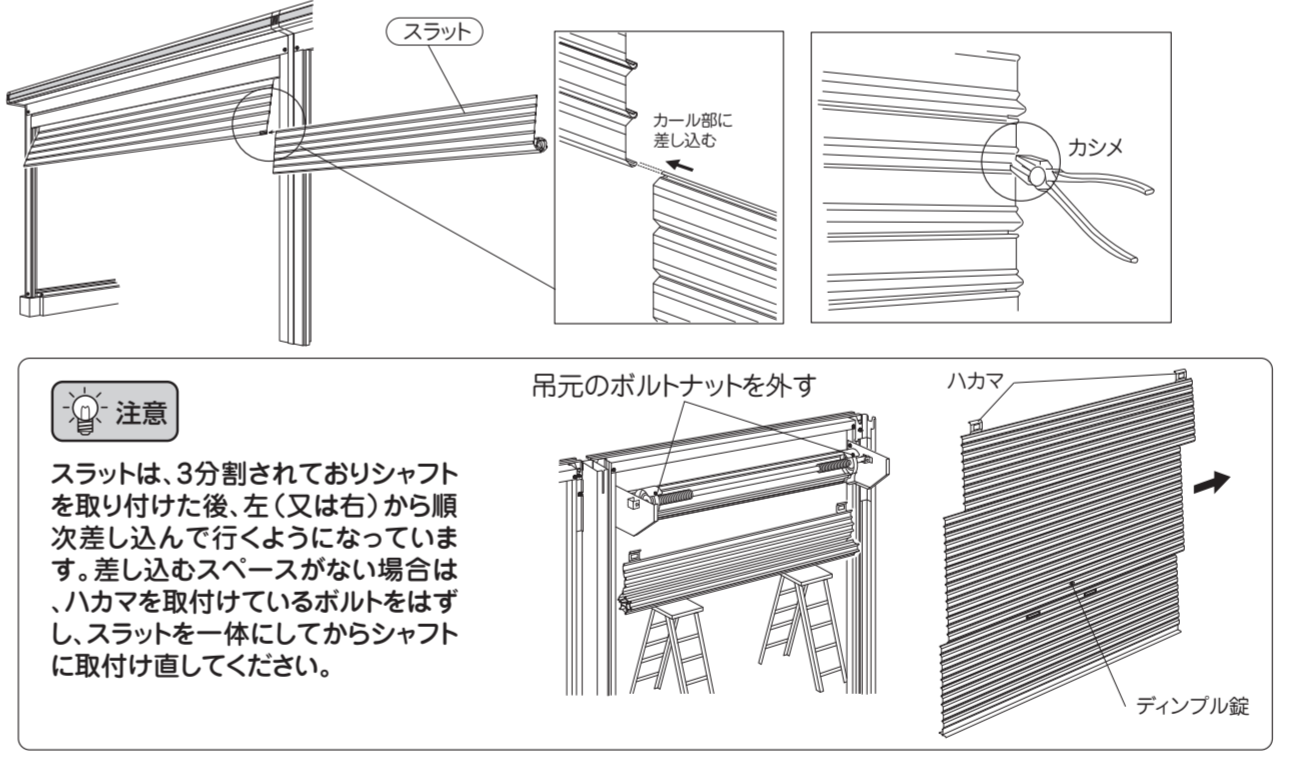
## 17 シャフトの取付け

- ① 室内側から(シャフト)を軸受に載せ、(スラット)をブラケットのガイドに通します。(先にスラットをガイドに通してから軸受に載せても施工出来ます)

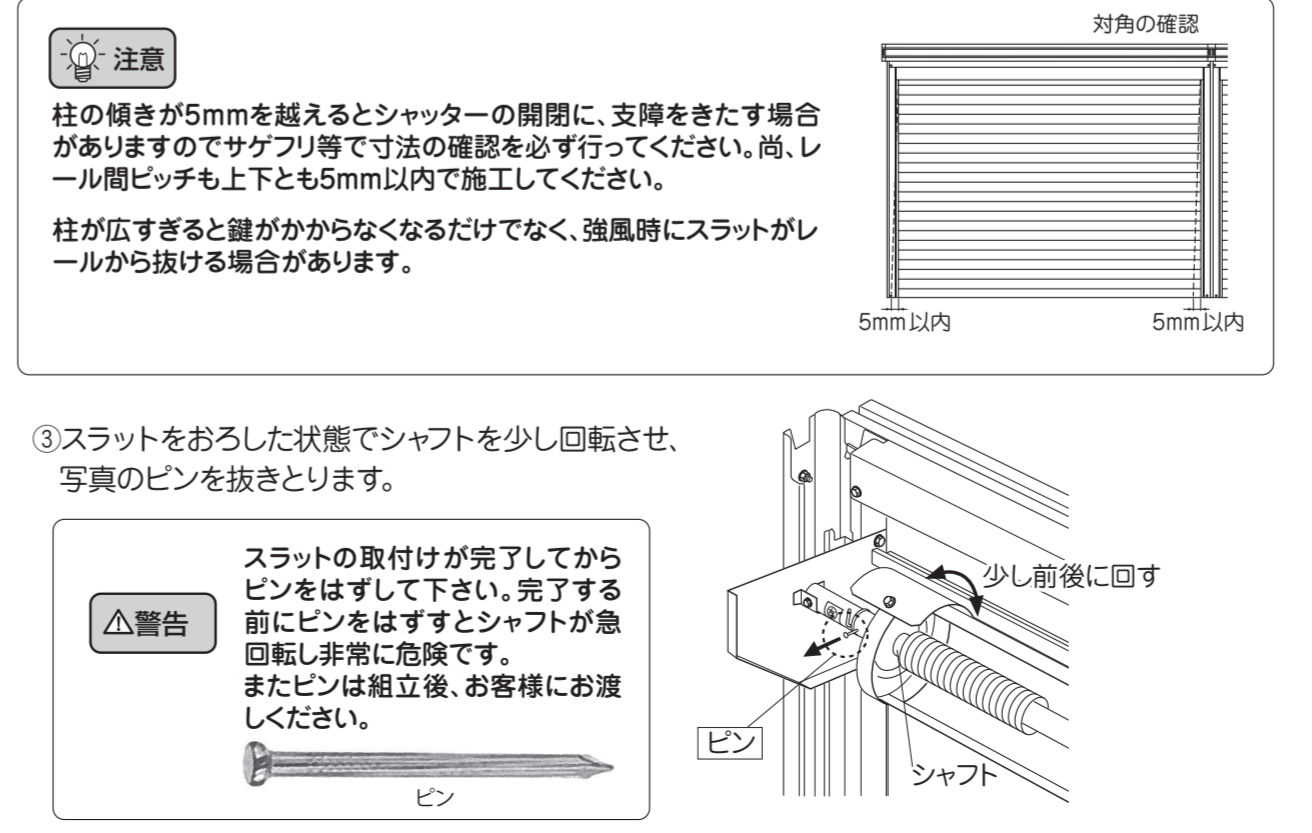


## 18 シャッタースラットの取付け

- ① 上から(外錠付スラット)→(水切り付スラット)の順に室外側から差し込み、継ぎ目の両端をベンチ等でかきめて固定します。



- ② スラットをおろし柱とゆがみがないか確認してください。

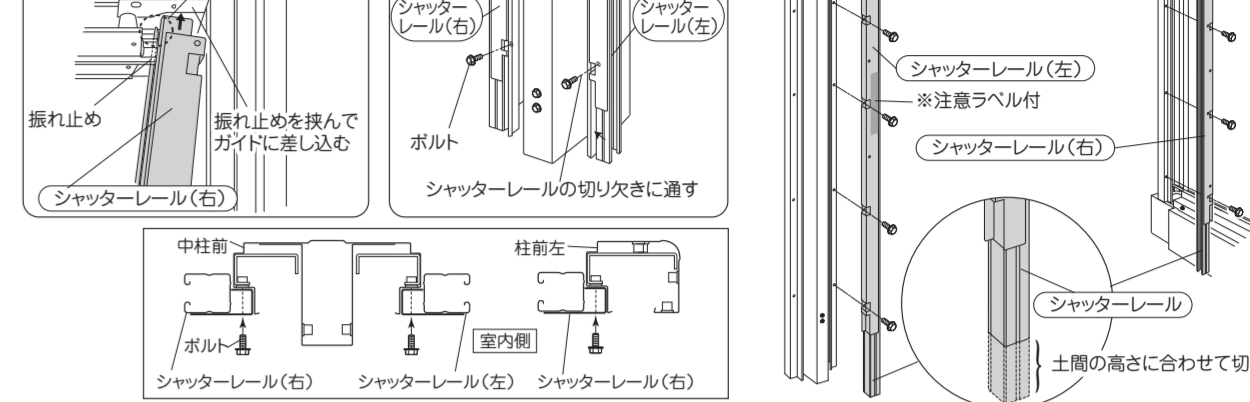


スラットの取付けが完了してからピンをはずして下さい。完了する前にピンをはずすとシャフトが急回転し非常に危険です。またピンは組立後、お客様にお渡しく下さい。

## 19 シャッターレールの取付け

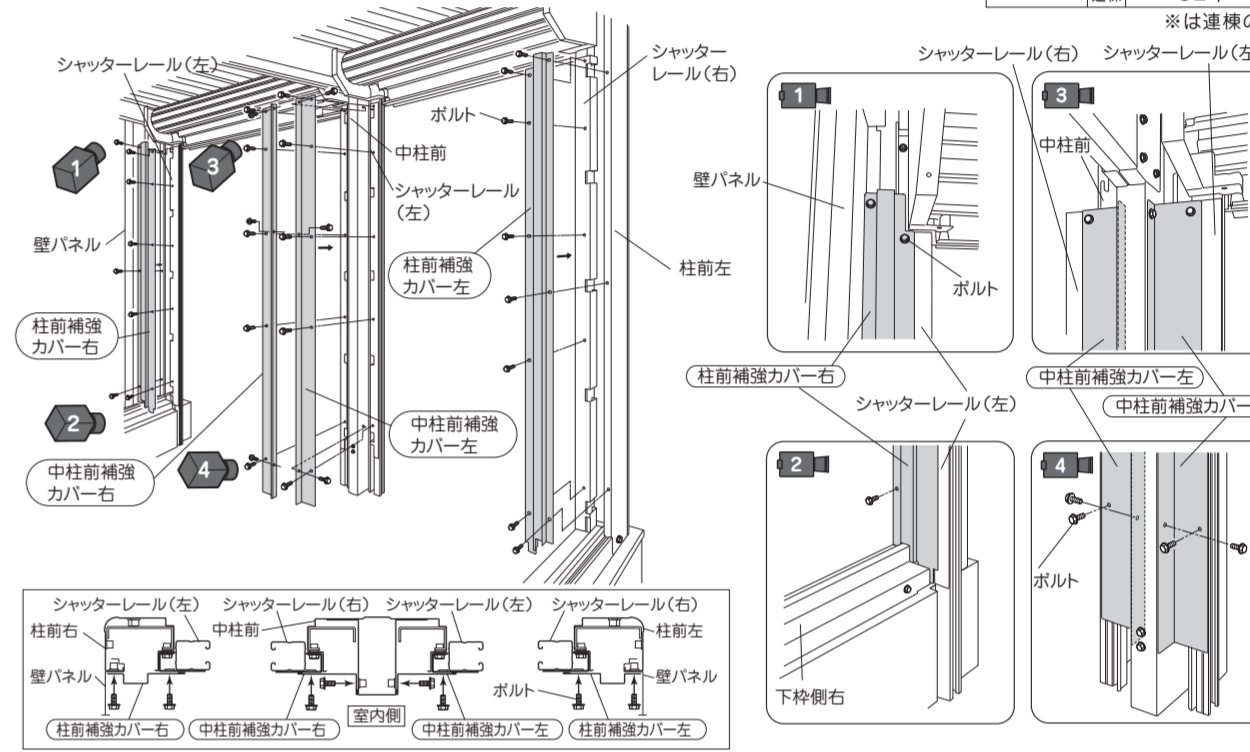
- ① スラットをブラケットのガイドに通しながら巻き上げます。
- ② (シャッターレール)の下端を土間の高さに合わせて切断します。
- ③ シャッターレール)の上部(つぶし加工あり)をブラケットのガイドに差し込み、下の断面図のように柱に沿わせてボルト止めします。

※シャッターレール左に貼ってある注意ラベルが正しく表示されているか確認してください。



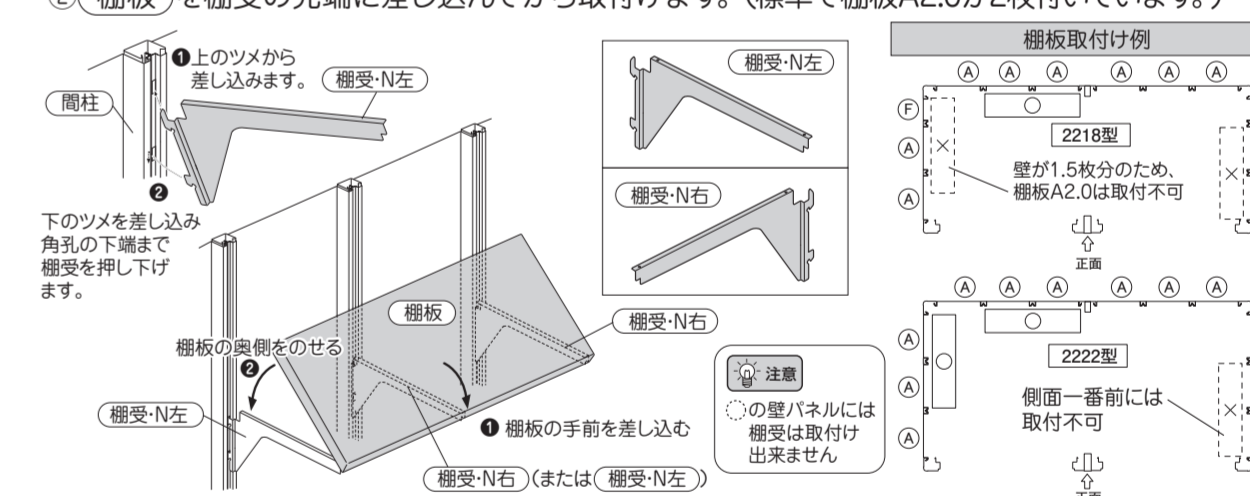
## 20 柱前補強カバーの取付け

- ① (柱前補強カバー左右)を柱前とシャッターレールに下図のようにかぶせてボルト止めします。
- ② 連続のみ(中柱前補強カバー左右)を中柱前下図のようにかぶせてボルト止めします。



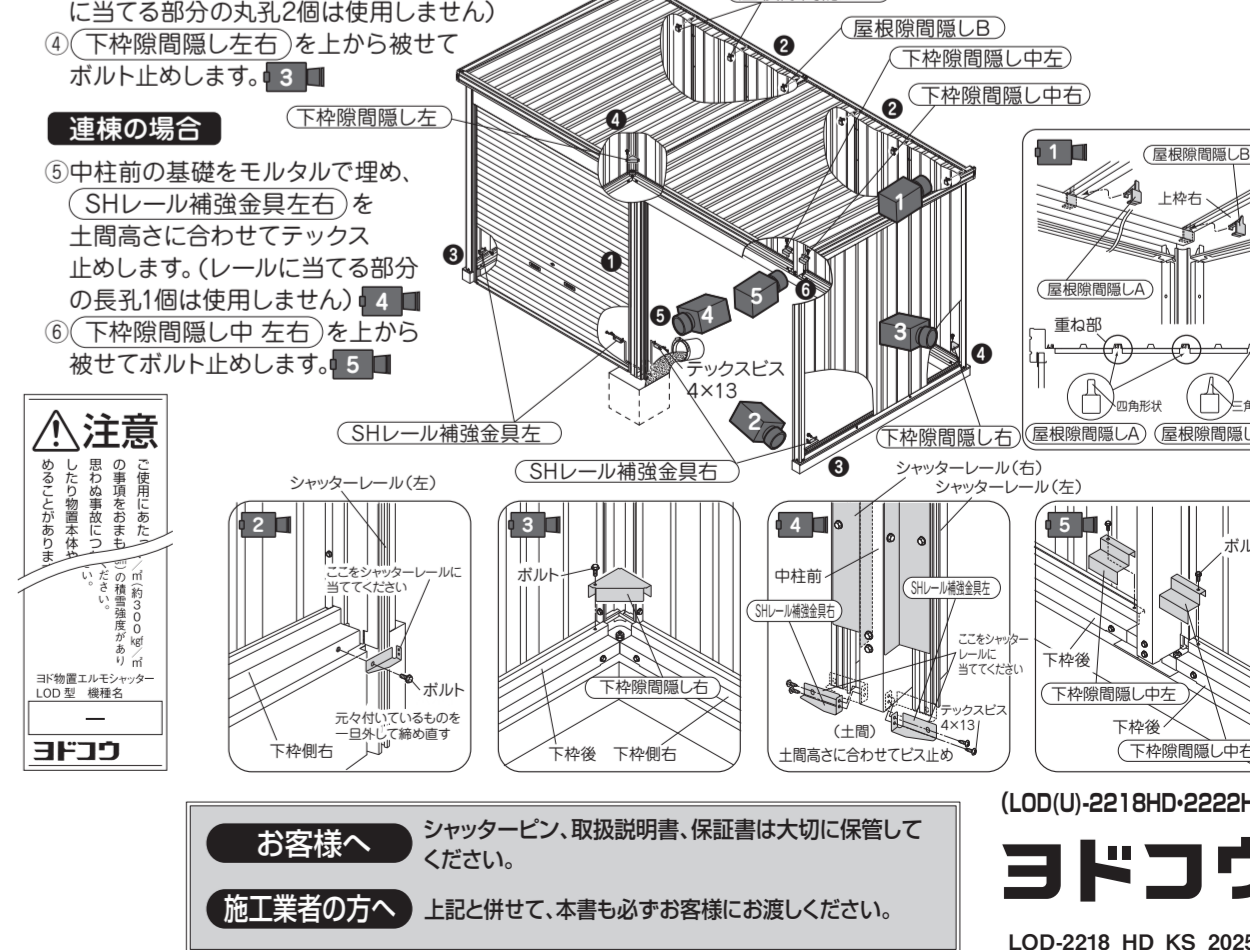
## 21 棚板の取付け

- ① (棚受)を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- ② (棚板)を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています)



## 22 その他部品の取付け

- ① シャッターレール(左)の注意ラベルに「機種名」を記入します。
- ② (屋根隙間隠しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隠しB)を上枠後の屋根と上枠の重ね部に取付けます。
- ③ SHレール補強金具左右)を下枠側の前部にボルト止めします。
- ④ (下枠隙間隠し左右)を上枠後に取付けボルト止めします。
- ⑤ (下枠隙間隠し左)を土間に被せてボルト止めします。
- ⑥ (下枠隙間隠し中左右)を上枠後に取付けボルト止めします。



シャッターレール(左)の注意ラベルに「機種名」を記入してください。シャッターレール(右)の注意ラベルに「機種名」を記入してください。シャッターレール(左)の注意ラベルに「機種名」を記入してください。シャッターレール(右)の注意ラベルに「機種名」を記入してください。

お客様へ シャッターピン、取扱説明書、保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ 上記と併せて、本書も必ずお客様にお渡しく下さい。

(LDDJ-U)-2218HD-2222HD

ヨドコウ

LDD-2218\_HD\_KS\_2025A